

**製品名: TIS11B (リン酸化 Ser92) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05564**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ZFP36L1
別名	ZFP36L1; BERG36; BRF1; ERF1; RNF162B; TIS11B; Zinc finger protein 36; C3H1 type-like 1; Butyrate response factor 1; EGF-response factor 1; ERF-1; Protein TIS11B
遺伝子 ID	677.0
SwissProt ID	Q07352
免疫原	抗血清は、Ser92 のリン酸化部位周辺のヒト TISB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 58-107

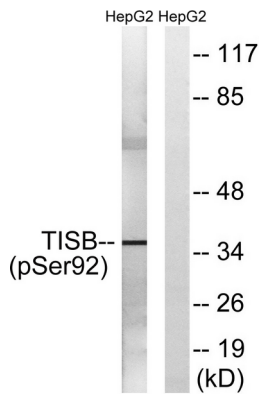
**背景**

この遺伝子は、ホルポールエステル TPA やポリペプチドマイトジェン EGF などの様々なアゴニストによって誘導される初期応答遺伝子 TIS11 ファミリーのメンバーです。この遺伝子は種を超えてよく保存されており、他の初期応答遺伝子に見られるモチーフを含むプロモーターを有しています。コードされているタンパク質は、システイン-ヒスチジン (Cys-His) の繰り返しモチーフを含む、特徴的な推定ジンクフィンガードメインを含んでいます。この推定核転写因子は、成長因子への応答を制御する機能を持つと考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]、機能：成長因子への応答を制御する調節タンパク質と考えられる。、類似性：2つの C3H1 型ジンクフィンガーを含む。、

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



TISB (リン酸化 Ser92) 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析  
右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。